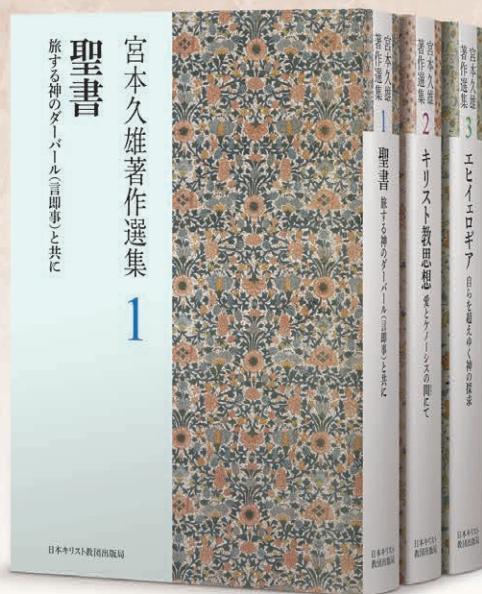


聖書や教父哲学を通じて、新たな思想立ち上げに挑む

宮本久雄著作選集

全3巻



1 聖書

旅する神の
ダーバール(言即事)と共に

2 キリスト教思想

愛とケノーシス^{あわい}の間にて

3 エヒエロギア

自らを超えゆく神の探究

2025年10月24日刊行開始!

宮本久雄

みやもと・ひさお

1945年新潟県高田(現上越市)に生まれる。東京大学、同大学院を経て、カナダ・ドミニコ哲学神学大学、エルサレム・フランス聖書考古学研究所、パリ・カトリック大学神学部博士課程を遊学後、東京大学大学院総合文化研究科教授、上智大学神学部教授を経て、現在、東京純心大学教授(専攻：聖書思想、教父神学、哲学)。

▶
編
著
書

『他者との出会い』『原初のことば』『彼方からの声』
(シリーズ物語り論、共編著、東京大学出版会、2007年)

『他者の魅り』(創文社、2008年)

『他者の風来』(日本キリスト教団出版局、2012年)

『パウロの神秘論』(東京大学出版会、2019年)

『押田成人著作選集1～3』

(編著、日本キリスト教団出版局、2020年)

『押田成人 遊行の巡礼者』(編著、同、2024年) 他

▶
訳
書

V.ロースキ

『キリスト教東方の神秘思想』(勁草書房、1986年)

E.スヒレバーク

『イエス——一人の生ける者の物語』第2巻

(共訳、新世社、1994年) 他



宮本久雄 著作選集

全3巻

各巻 A5判 上製
予270~288頁
定価4,620円(本体4,200円)



刊行によせて

宮本久雄

こうべ めぐ
首を回らせば、わたし自身、折あるごとに出逢いを与えられ、風に導かれながら、おのずからに哲学、聖書学、教父学の途をたどってきたことを想起こす。そうした一つひとつの歩みは、今や「エヒエロギア」という大きな流れに収斂し、独自の思想として出来つつある。その根本にあるのは、神がイエスという人になり（神の脱在^{エヒエ}）、貧しい人や小さき人が排除されない円い^{まど}を構築するために命をかけたことにある。それにならって今日どうすればよいのか——これは私の若き日からの問いであった。この問いが熟成し実ることを願ってやまない。

1 聖書

旅する神のダーバール(言即事)と共に

2025年10月24日刊行予定

■寄稿エッセイ：山本 巍

「聖書」には、どのような言語空間がひろがり、それはわたしたちに何を告げているのか。旧約聖書からは、創世記、ヨブ記、預言者ホセアのことば、そして新約聖書からはイエスの譬え話、ヨハネ福音書、パウロらを取り上げ、それらに実存的に迫る。 ISBN978-4-8184-1212-5 C3016

目次

序章 聖書言語の身分

I 旧約聖書

- 第1章 神の似像としての「男・女」協働体
——創世記1~3章の物語り論的解釈
- 第2章 ヨブ記の物語り論的解釈 ——苦難、他者、証言
《コラム》 「無」を語る花——ホセアの言と生

II 新約聖書

- 第3章 福音書の譬え話の解釈
——「異化作用・記憶の痕跡」の探究
- 第4章 ヨハネ福音書と pneuma 言語 ——仲介する第三者
- 第5章 身体(ソーマ)を張って生きたパウロ
《コラム》 記憶に拠る食卓協働体の成長と歴史的カイロス



2 キリスト教思想

愛とケノーシスの間にて

2025年12月刊行予定

■寄稿エッセイ：谷 隆一郎

古代の教父や中世の神学者・キリスト教思想家たちは、聖書をどのように受けとり、ギリシア哲学などを用いて解釈して深めたのか。ニュッサのグレゴリオス、アウグスティヌス、トマス・アクィナスなどをたどり、彼らが奏でた霊的ハーモニーを探究する。

ISBN978-4-8184-1221-7 C3016

目次

- 第1章 ギリシア教父の思索
- 第2章 フォーティケーのディアドコス
——東方キリスト教における霊の息吹きと根源の人間
- 第3章 ニュッサのグレゴリオスにおける「神の似像」
——エベクタシス表現を契機として
- 第4章 光とカタチと闇(グノフォス)
- 第5章 擬ディオニュシオスの言語表現「神秘」をめぐる
——否定詞οὐδέ, οὐτεを送りつけてくる全体
- 第6章 アウグスティヌスによる愛の巡礼の物語り
——私の重さは私の愛(pondus meum amor meus, XIII.9.10)
- 第7章 恩恵的行為論の披く「存在と人間」理解
——トマス・アクィナスを通じて
- 第8章 トマス・アクィナスにおける肯定、否定、卓越の途
- 第9章 西欧中世ドイツの神秘家マイスター・エックハルト



3 エヒエロギア

自らを超えゆく神の探究

2026年2月刊行予定

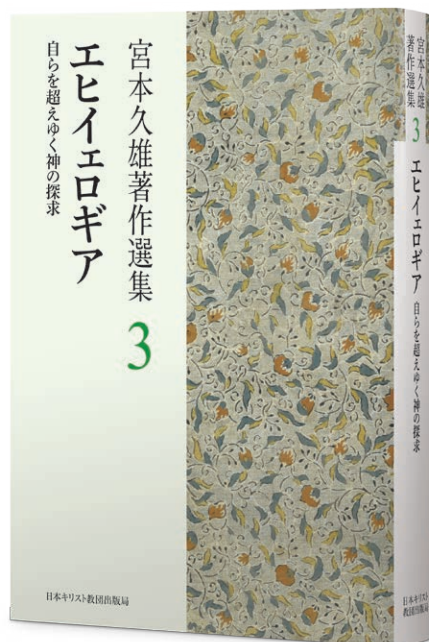
■寄稿エッセイ：田中 裕

他者、殊に社会から排除されゆく人々との相生に向けた新たな存在論とは？ 出エジプト記に示される神の姿(エヒエ)に拠りつつ、西欧の形而上学的存在神論を超克すべくエヒエ的脱在論の構築を目指す。また、エヒエの体現者として、石牟礼道子や良寛を扱う。

ISBN978-4-8184-1222-4 C3016

目次

- I エヒエロギアとは
 - 第1章 エヒエロギアについて
 - 第2章 根源悪とは
 - 第3章 存在—神—論(onto-theo-logia)について
 - 第4章 エヒエロギアの構築へ
- II エヒエロギアの体現者たち
 - 第5章 アブラハムの物語り ——創世記12～25章
 - 第6章 イエスとパウロ
 - 第7章 『聖マクリナの生涯』の物語り
 - 第8章 石牟礼道子の「アニマのくに」
 - 第9章 宮沢賢治の宗教的宇宙とその修羅的菩薩像
——「法華経」と妹シの息吹き
 - 第10章 遊化の人 良寛
 - 第11章 水雲崔濟愚の神秘体験
——東学農民運動の根源(至気・侍天主)から現代の共生へ



宮本久雄の師であり、同じドミニコ会士である押田^{しげと}成人に関する著作

押田成人著作選集 宮本久雄／石井智恵美 編

現代文明への警鐘を鳴らした、押田成人神父の著作選集。
「彼のことは、環境破壊、核問題、宗教対立といった現象の根にあるものを気づかせ、それらの根源的な解決へのヒントを与えてくれるとともに、キリスト教そしてその枠を超えた霊性の流れを伝えるだろう。」
(刊行のことばより)

- 1 深みとのめぐりあい
高森草庵の誕生【オンデマンド版】
A5判 並製・252頁・定価3,960円
ISBN978-4-8184-5126-1
- 2 世界の神秘伝承との交わり
九月会議
A5判 上製・260頁・定価2,970円
ISBN978-4-8184-1054-1
- 3 いのちの流れのひびきあい
地下流の霊性
A5判 上製・260頁・定価2,970円
ISBN978-4-8184-1055-8



全3巻

押田成人 遊行の巡礼者

宮本久雄／石井智恵美 編

信州の八ヶ岳山麓に高森草庵をひらき、祈りと労働、思索の日々を送った押田成人神父。病を同伴者として歩んだ生涯と、宗教や民族を超えた人びとの出逢いを通して培われたその思索をたどる。

四六判 並製・176頁・
定価2,200円
ISBN978-4-8184-1183-8



「宮本久雄著作選集」刊行記念会

申込
不要

日時●2026年2月23日(月・休)

講演者(予定)●宮本久雄、山本巍、田中裕

会場●幼きイエス会・ニコラバレ(JR四ツ谷駅麹町口前)

参加費●1000円 ■主催／宮本久雄著作選集刊行会

※日時、会場の詳細については、2025年12月以降に出版局HP、出版局X(旧Twitter)にてお知らせ申し上げます。

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 TEL 03-3204-0422 FAX 03-3204-0457
■ホームページ <https://bp-uccj.jp> ■Eメール eigyoubp@bp-uccj.or.jp (価格は10%税込)

宮本久雄著作選集 全3巻

各巻 A5判 上製・予270~288頁・定価4,620円
セット価格 定価13,860円

注文数

セット

1 聖書

旅する神のダーパール(言即事)と共に

ISBN978-4-8184-1212-5 C3016

2025年10月24日刊行予定

2 キリスト教思想

愛とケノースの間(あわい)にて

ISBN978-4-8184-1221-7 C3016

2025年12月刊行予定

3 エヒエロギア

自らを超えゆく神の探究

ISBN978-4-8184-1222-4 C3016

2026年2月刊行予定

押田成人著作選集 全3巻

1 深みとのめぐりあい

高森草庵の誕生【オンデマンド版】

定価3,960円

冊

2 世界の神秘伝承との交わり

九月会議

定価2,970円

冊

3 いのちの流れのひびきあい

地下流の霊性

定価2,970円

冊

押田成人 遊行の巡礼者

定価2,200円

冊

お名前

Tel.

取扱店名

E-mail

〒

ご住所